

なだ だ な

なだの疑問にお答えします。
なだだったかなでは皆さんからの灘区に関する
 質問などを募集しています。
 赤い旗の内容は前ページの地図に場所が載っています。

Q1

区役所の西の都賀川にかかっているのは「新都賀川橋」、まわりを見渡しても「都賀川橋」が見当たりません。本家の「都賀川橋」というものは存在するのでしょうか？



A. 存在します。
 国道43号線が都賀川をまたぐ橋、それが「総本家都賀川橋」です。
 幅はなんと50m! かつての「都賀川橋」は、旧国道にかかる、のどかでスマートな橋だったようです。
 しかし、国道43号線の工事により、幅50mに拡幅され、今では区内屈指の交通量を誇る橋となりました。阪神都市圏の高度成長期を支えてきたという誇りを胸にしつつ、のどかな昔を懐かしんでいるのかもしれない。

Q2

灘区に飛行場があったという話を聞いたことがあるのですが、本当なのでしょうか？

A. 本当です。
 日本の敗戦後、現在神戸大学の文、理、農学部になっている所が「六甲ハイツ」と呼ばれアメリカ軍に使用されていました。その時山手幹線の現在の日尾町あたりから石屋川あたりまでが、アメリカ軍の飛行機の滑走路として使用されたそうです。
 今となっては信じられませんが、自動車で東灘方面から川を渡って坂を下る時、なんか飛行場に着陸するような気もしないわけでもありませんね。

まちを知るための情報誌 **なだだな** とは...

震災後、ボランティア等のかたちで地域コミュニティで活動してみようという動きが盛んになってきました。こういう動きをもっと盛んにし、自分達の住むまちに興味を持つきっかけになればと、区民手作りの「まちを知るための情報誌/**なだだな**」を作成することになりました。

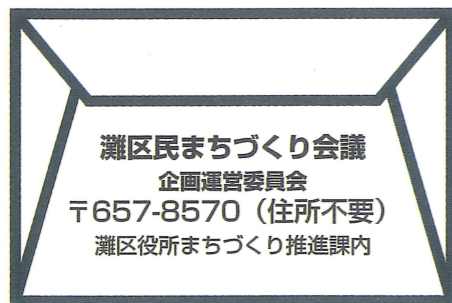
「まちを知るための情報誌/**なだだな**」では、灘区にこだわって、灘区の魅力の掘り起こしを狙った情報誌づくりを目指します。

また、灘区の特に興味深い場所を、みんなの参加を得て調査してもらう記事や、灘に関する区民の疑問に答える記事など、「みんなで参加できる」情報誌づくりを目指します。

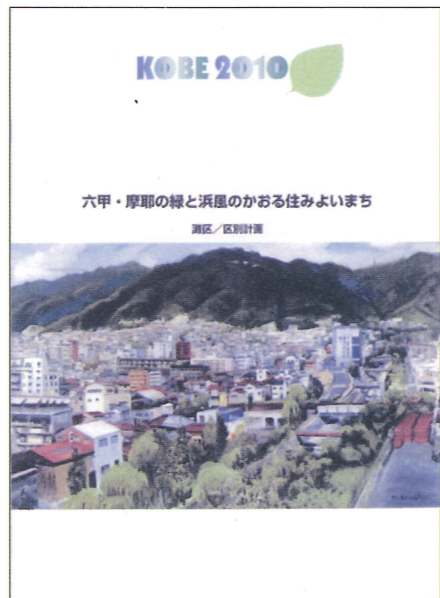
今後ともまちでこの情報誌を見かけたら、ぜひとも手に取ってご愛読ください。

情報をお寄せください

「なだだな」では灘に関する忘れさられようとしている事
 知られざる歴史
 なんとなく覚えている記憶
 ひと昔前の写真や資料
 等を広く募集しております。
 皆様からの情報を是非とも
 お寄せください。



●ところで灘区民まちづくり会議とは...
 灘区では、2010年を目標とした**灘区別計画**を策定し、区民、事業者、行政と一緒にまちづくりを進めています。この灘区別計画の実現を目指すのが、灘区民まちづくり会議です。住みよい灘区をつくるために、区民の皆様の、まちづくりに対するご意見とご参加をお待ちしております。
 よろしくお願いたします。



NADA DANA

まちを知るための情報誌
なだだな



なだなんだかんだ
 灘B級メディア史

なんなんだ!
 開かずの扉●阪急六甲

なだだったかな?
 都賀川橋・灘の飛行場

1998.4
 Vol.1

編集・発行：灘区民まちづくり会議
 企画運営委員会

NADA DANA

なだだな No.1
 1998年4月

編集・発行
 灘区民まちづくり会議
 企画運営委員会
 〒657-8570
 灘区役所まちづくり推進課内
 (078) 871-5101 (代)



長田区が寅さんに登場した。少しうらやましい。ポートアイランドは歌になった。ちょっとうらやましい。NHK「甘辛しゃん」も東灘区が主役。実にうらやましい。我が灘区は、今までそんな話はあったのだろうか…!?

灘区的雰囲気

- ★本題に入る前に、灘区ってどんな町でしょう。
- おとなしい町ですね。
- ▲長田とか三宮近辺と違っておとなしいね。
- この前長田の人に、灘区と東灘区の区別がつかないと言われました。
- 長田から見るとそう見えるかも。でも、我々からすると東灘区と灘区は全然違う感じがします。
- ▲そう、中央区の葺合地区からズルズル灘区に入ってきてあんまり違いがわからないけど。逆に、山手幹線を車で灘区から東灘区へ入ると、風景が変わります。
- ★山手幹線は、灘区と東灘区とでは石屋川を境に空気が全く変わりますよね。
- ▲御影が相手じゃしょうがないなあ。

幻のご当地ソング?【六甲道】

- ★そんな地味な灘区ですが、今までに、歌の題材になったりTVとか映像に登場したことはあるんでしょうか?まずは歌から。
- 灘区が舞台になった歌ってあるかなあ?
- ★歌謡曲で神戸の歌っていうと、どうしても港とか中央区近辺の内容になりますね。
- 『そして神戸』(内山洋とクールファイブ・S47)とか『長崎から船に乗って』(五木ひろし・S46)とかも具体的な地名は出てこないけど、灘区が舞台じゃなさそうですね。
- 摩耶埠頭は貨物船しか来ないもんね。
- 都賀川音頭はあるそうですね。レコードも。
- 確か『六甲道』(1)という歌があったのを何かの本で見ました。歌詞は、なんか演歌ぽかったと思います。昭和52年位だから、JRの六甲道駅が新しくなったあとですね。
- ▲キャンペーンソングみたいなものなの?
- いやあ、そんな感じでもなかったですよ。歌詞もあまり特徴がなかったと思う。
- もっと色々ご当地ソングみたいに、名所とか入れればいいのにね。
- ★酒蔵とか、小泉製麻のレンガ塀(2)とか。ネタはありそうなんですけどね。
- あと、開かずの踏切(3)なんてどうですか?
- 開かずの踏切君と僕。貨物列車がふたりを分けるなんて。(笑)
- ▲やるならそれくらいやってほしいですね。
- 歌じゃないけど、歌手では灘みやこさんがいますよね。
- 灘みやこのみやこは都通のみやこかなあ。
- まさか、都賀川の都でしょ。
- 都通の都だったら、求女塚ブルースなんて歌って欲しいですね。
- ★求女塚の物語(4)って結構歌になるんじゃないですか。ま、ブルースにはならないかな。

灘 B級メディア史

【昭和40年~50年代編】

六甲山の秘密基地

- ★TVや映画の中の灘はどうでしょう?
- 大分前、NHKの「太陽の子」ってドラマがタカバシ付近でロケやってた記憶があるのですが。確か、阪急王子公園駅のあたりでロケやってたんじゃないかな?
- ★ウルトラセブンのロケが神戸でありましたよね。
- あったあった、ロボットの怪獣の時で、確か前編と後編2回に渡ったやつ。
- キングジョー(5)ですね。
- ★ポートタワーとか新港突堤が映ってましたよね。
- あの時はわざわざロケ見に行ってお pointer 見たって自慢するやつがいたね。「俺 pointer 見たで」とか言って。「pointer 見たけどあれブリキやで」って言ってたね。
- ★ブリキっていいのいいですね。
- いや、ブリキでもいいから見たかったなあ。
- ★六甲山に秘密の基地があって、山腹に出入り口があるんですよね。
- ▲出た、灘区。
- ★トンネルの壁がパカッと開くんですよ。
- あれは子供心にワクワクしました。確か世界防衛センターの入り口でした。
- すぞい、灘区に国の施設だ!
- ★世界の施設ですよ。実は脇浜のWHOより早かったんですね。(笑)
- 映画では『風の歌を聞け』(6)で灘区のようなところが一瞬映っていますね。あれは、多分青谷とか箕岡のあたりじゃないですかね。
- あの映画は芦屋から神戸にかけての風景がふんだんに出てきますからね。
- しかし、一瞬で灘区の景色だと分かったのはえらい!あれ一瞬だもの本当に。
- あと、映画だと摩耶ケーブル山上駅近くの摩耶観光ホテル(7)が最近までよくロケに使われていましたね。
- ★あの廃墟は絵になりますからね。
- あとはカラオケビデオのロケが水道筋で行われたそうですね。
- ▲地味ですね。
- 灘区らしいですね。(笑)
- 我々の世代だとこの程度しか分からないけど、話に聞くと嵐貴十郎の映画ロケも灘区で行われていたそうだよ。
- 摩耶埠頭とかもギャング映画なんかで使われていそうですね。
- ★次回はもう少し上の世代の座談会にしましょう。
- ▲また面白い話が出てきそうですね。

今回のキーワード

赤い旗のキーワードは上の地図に場所が載っています。

1 【六甲道】
作詞：下條 薫
作曲：近藤敬之
唄：金森 隆&ルーサーズ
昭和52年CBSソニー
【参考文献：「神戸のうた」】

2 【小泉製麻のレンガ塀】
阪神新在家の南の国道43号線沿いにあった赤レンガ造りの建物。明治23年に誕生した小泉製麻の、日本初の麻袋工場だった。香港で作られたレンガを使用した瀟洒な建物で、工場閉鎖後も家具店に使用されていたが、残念ながら阪神大震災で倒壊した。

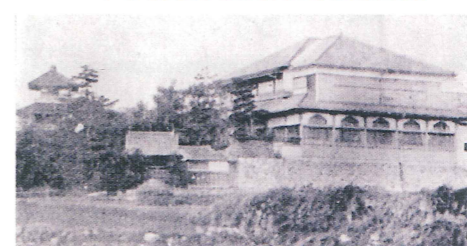


3 【開かずの踏切】
現在のJR六甲道が高架駅になる前、駅の東にあった踏切。一旦踏切が閉まるとなかなか開かない。区内の小学校の社会科の授業でも「開かずの踏切」として紹介されるほどだった。六甲道の踏切に限らず高架になる前は、区内のJRの踏切はこう呼ばれた。

下の写真は、昭和43年当時の写真。



4 【求女塚の物語】
『万葉集』のなかで高橋虫麿呂が詠んでいる伝説。葦屋の菟原処女に血沼壮士と菟原壮士の2人の若者が求婚した。やがて2人の若者は菟原処女をめぐる争い合い、心を痛めた処女は心を痛めて自ら命を絶つ。男達もその後を追って死んでしまった。伝説では都通3丁目にある西求塚古墳は、菟原壮士の墓とされているが、実際は豪族の墓と推定されている。下の写真は、大正時代の求女塚古墳。



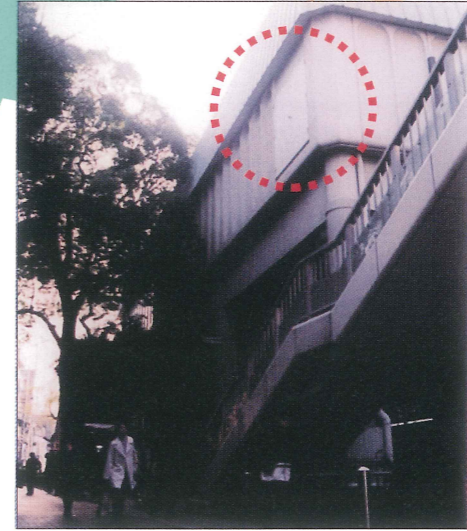
【参考文献：「兵庫の歴史散歩」・写真：「西灘村史」】

5 【キングジョー】
『ウルトラセブン』円谷プロ制作
昭和43年1月7日、14日放映
「ウルトラ警備隊西へ(前・後編)」に登場した高性能ロボット。

開かずの扉

阪急六甲でボーリング?
取材：NADA Challenge '98実行委員会
協力：阪急電鉄株式会社

灘よろず調査委員会



この間梅田に行った帰り、私はいつものように、阪急六甲駅で降りました。駅の海側をてくてくと歩いていて、ふと見上げると大きな扉を発見。あれっ、なんでこんなとこに扉あるん? なんのためにこんなとこに扉なんかつけたんやろう?

普段見慣れた景色の中に奇妙なモノを発見した私は、驚きと同時にうれしい気分になりました。

読者のみなさん、どこにあるか分かりますか? 阪急六甲駅の南側改札を出て東に少し歩き、歩道橋の登り口のあたりで、駅の建物を見上げてみて下さい。ちょうど学校の体育館にあるような大きな扉があります。なにやら意味ありげな扉です。というのは、扉があるのに下りるところも階段も全くありません。建物の2階部分にただ「扉」だけがあるのです。

” いったい誰がどうやって出入りするんやろう? いや、人が出入りしないとしても、何のために取り付けられたんやろう? ”

いろいろ考えてみました。非常口か? いや取手もなにもついていません。非常口として使ってもケガをするだけです。ひょっとすると、「開かずの扉」で何かがそこに封印されているのでは?

不思議に思った私は、友人と共に調べてみることにしました。まず阪急電鉄に問い合わせしてみました。すると、なんととんでもないことが分かったのです。

現在の六甲駅の北側にある店舗部分は、ボーリング場として建てられ、例の扉はそのボーリング場のレーンなど大型器材搬入のために設置されたものだということです。

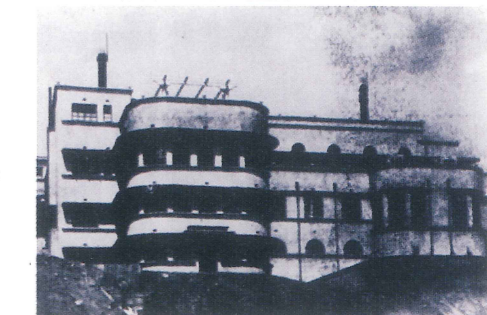
で、ボーリング場が建てられたのは、ボーリングがとても流行っていた頃。その後、ブームが去り、結局ボーリング場としては使われず、残ったのはこの大きな扉のみ。ちなみにこの扉は一度も開かれたことがなく、これからも開かれることがない、本当の開かずの扉です。しかし、いつかボーリングブームが再来し、阪急六甲駅ボーリング場がオープンすることになったら、この開かずの扉が開かれる時が来るかも知れません。

NADA Challenge 今年もやります!

NADA Challenge '98 実行委員会は、震災の年に発足した神戸大学生の2つの震災ボランティア団体の有志によって構成されています。地域を知り交流を深めるために、学生が地域の方々の協力を得て開催するお祭りが、NADA Challenge です。今年は6月7日に成徳小学校で開催する予定です。どうぞお気軽に遊びに来てください。

6 【風の歌を聞け】
大森一樹監督 / 村上春樹原作
シネマハウト+ATG 提携作品
芦屋、神戸オールロケ作品

7 【摩耶観光ホテル】
昭和7年建設
鉄筋コンクリート造5階建
その姿から「山の軍艦ホテル」の異名をとる。20畳敷きの岩風呂、舞台付400人収容の大ホール、中ホール、食堂、和洋客室13室、屋上ビアガーデン、ビリヤード場、ローラースケート場等を持った総合レジャー施設であった。



【写真・参考文献：「阪神間モダニズム」】